

極地から地球を見る

極域科学に挑戦する、意欲に満ちた学生を歓迎します。

総研大

先端学術院

極域科学コース

5年一貫制博士課程・博士後期課程

大学院生募集

国立極地研究所で学ぶ

優れた研究環境で、高度な研究能力や
フィールドサイエンティストとしての力量をもつ研究者を養成します。

研究室訪問随時受付

研究室の見学、教員との面談等を
随時受け付けています。

往復
交通費
支援

入学試験

5年一貫制博士課程（4月入学） 出願期間：前年の6月～7月／試験日：前年の8月
博士後期課程（4月または10月入学） 上記日程に加え冬の入試もあります。＊詳細はHPをご確認ください。



博士、研究者を目指すあなたへ

世界トップレベルの研究機関で、専門力・独創性・学際性・国際性・倫理性を兼ね備えた研究者を育成する総合研究大学院大学。極域科学コースを担う国立極地研究所の優れた研究環境の中で、あなたの可能性を試してみませんか？

極域科学コースでは、南北両極や高山等の極域における自然現象や物象を支配する普遍的な原理・法則の探究、地球環境変動や地球惑星システムに果たす極域の役割、および極域の地史・自然史の解明に取り組んでいます。



博士課程のグローバルスタンダード

国際競争力のある卓越した研究者を養成すべく、5年一貫制博士課程を取り入れています。これは、諸外国における博士課程教育のスタンダードなスタイルです。学士号取得（相当）者は、学部卒業直後から国立極地研究所において、一貫して極域科学の基礎教育及び高度専門教育を受けることができ、5年間という十分な時間をかけてじっくりと博士論文作成に取り組むことができます（修士号取得（相当）者は博士後期課程から3年間の受け入れも可能です）。



極地への長期フィールドワーク・海外派遣制度

南極及び北極等への長期間のフィールドワークに参加することが可能です。また、SOKENDAI研究派遣プログラムや国際共同学位プログラムにより、国内外の長期共同研究等に取り組む学生をサポートしています。



分野を超えた幅広い教育環境

総研大先端学術院には20コースが設置されており、学問分野の垣根を超え、各コースを担う研究機関の多彩な教育リソースを全学でより柔軟に活用できる教育環境を提供しています。また、東京大学や東京工業大学など多数の大学との間に交流協定を結んでおり、単位互換制度も整備されています。



豊富な学生支援制度

リサーチ・アシスタント制度や授業料免除制度、SOKENDAI特別研究員制度等により、学生の研究活動を経済的にサポートしています。



学位取得後の多彩な進路

多くの修了生が国内外の大学・研究機関・民間企業等で、研究者として活躍しています。



教員・研究室訪問 受付中

極地研（総研大極域科学コース）では、入学を希望する皆さんの訪問を歓迎します。研究室の見学、教員との面談等を随時受け付けており、往復交通費の支援も行っています。詳しくはこちら：<https://www.nipr.ac.jp/soken/contact/>

総合研究大学院大学先端学術院 極域科学コース
大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 本部事務局 立川共通事務局 極地研事務課 極地研係
〒190-8518 東京都立川市緑町10-3 TEL: 042-512-0612 E-mail: sokendai-kyokuiki@t.rois.ac.jp

教育研究指導分野



極域宙空圏

極域の宙空圏で発生するオーロラなどのさまざまな電磁諸現象の理解や、エネルギー輸送とその変換過程に関する教育と研究を行います。



極域気水圏

地球の冷源域として、気候・環境システムに重要な役割を果たしている南極・北極の大気・雪氷・海洋・海氷システムの素過程およびそこから生み出される自然現象に関する教育と研究を行います。



極域地圏

南極で取得される岩石や隕石、重力や地震記録などの試・資料と、地球観測衛星データをもとに、南極の寒冷化と氷床発達および変動史、氷床変動などに伴う現在の地殻変動と海面水位変化等に関する教育と研究を行います。



極域生物圏

極域に生息する生物の環境適応と生物生産および生物生産と環境変動の相互作用に関する教育と研究を行います。